

第 29 号

若手政治家志望者からの訴え

【委員会決定を受けての日本テレビの対応】

7月26日に「委員会決定」を出した標記事案について、BRCは“問題なし”との決定だったことから、当該局に通知後の改善・対応報告を求めている。

しかし、日本テレビから10月13日付けで「委員会決定」後の対応について報告があった。

日本テレビの報告は以下の通り

平成18年10月13日

放送と人権等権利に関する委員会(BRC) 御中

日本テレビ放送網株式会社

「若手政治家志望者からの訴え」に係る委員会決定を受けての取り組みについて

当社は、視聴者からのご意見や番組に対する苦情等、社外からの意見への対応につきまして、苦情や視聴者の意見等の電話に対応する実地研修を、毎年100名規模で行うなど、これまでも積極的に対応してまいりました。

この度、貴委員会からの本年7月26日付け「委員会決定」通知を受け、当社では、上記研修等、従来から行われている対応に加え、下記の取り組みを行いましたので、ご報告いたします。

1. コメント公表

本年7月26日の「委員会決定」通知直後に、「見解は権利侵害や放送倫理に反する点はなかったというものでした。放送後の対応についての委員会のご指摘については、真摯に受け止め、迅速な対応に努めてまいります。」との当社コメントを公表いたしました。

2. 放送上の対応

「委員会決定」について、通知当日の『午後は おもいっきりテレビ』内のニュースコーナーと、『リアルタイム』の中で、それぞれ50秒程度、全国ネットで放送しました。また、平成18年7月30日放送の『あなたと日テレ』内でも、関東ローカルで放送いたしました。

3. 「委員会決定」の社内報告と周知

通知当日の7月26日に定例開催された日本テレビ放送番組審議会において、「決定」の内容を報告したほか、当社放送倫理・視聴者対応委員会下の実行委員会である視聴者対応実行委員会(7月27日開催)でも「決定」内容を踏まえ、被取材者や視聴者からの意見や抗議に対しては、その内容を十分に検討し、迅速かつ適切な対応を行うことを再確認いたしました。

社内各部署に対しても、定例の局長会を通じ、「決定」内容の全社的な周知を図るよう、改めて確認いたしました。

また、コンプライアンス推進室より毎週定期的に発行し社内公開している社内向け考査情報「コンパス」の8月2日号で、BRC決定について掲載し、放送後の対応については、制作現場において迅

速に対応するよう、改めて呼びかけました(「コンパス」は、日本テレビのイントラネット上で常時公開のほか、日本テレビ系列の放送局にも配布)。

4. 報道局の対応

審理対象の番組を制作した報道局では、定例の幹部会で、「委員会決定」資料を配布・回覧して、詳細を伝え、報道局内での「決定」内容についての周知徹底することを確認いたしました。さらに、取材デスク、編集デスク以上が出席する編集会議の場を通じて、「決定」の内容を報告し、番組制作担当者並びに局内のスタッフ全員に対し、被取材者からの苦情等については迅速に対応するよう、改めて指示いたしました。

5. 検証及び対策の検討

今回、申立人によるホームページ上での意見交換や見解公表を巡って、慎重に検討・対処していたことが、結果的に放送後の対応の遅れにつながった点を重視し、インターネット時代の視聴者及び取材対象者への対応について、報道局及び編成・制作局等の制作現場と視聴者対応セクション、BPO担当、広報担当等が連携し、放送局としてあるべき方策を引き続き検討していくことを確認しました。

以上